

五十五万石

近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3
TEL.426-3600 FAX.424-1474



「三段壁より。新春の絶景を望む」

目 次

年頭所感（初夢）（和歌山支部長） …… 2	初詣/6度目の辰年のために …… 5
新年のごあいさつ（和歌山税務署長） …… 2	辰巳天井申すべり …… 6
年男・年女に当たる会員ご紹介 …… 3	優良事業所見学、京都親睦旅行感想記 …… 7
マラソン/ミレニアム・還暦・業務対策 …… 4	新入会員等ご紹介 …… 8

年頭所感 (初夢)

和歌山支部長

勝 田 晃 夫



あけましておめでとうございます。
会員先生方には、ご家族共々ご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また昨年中は会務運営に何かとご協力を賜り誠にありがとうございました。

さて、希望に満ちた2000年最初の初夢はどんなものでしょうか。今アメリカでは昨年11月10日に封切られた日本のアニメ映画「ポケモンミュウツーの逆襲」が爆発的な人気となり米映画興行史上有数の業績を上げている。まさしく日本にとってピカチュウ様々である。やがて「ポケモンピカチュウ」が世界中を駆けめぐり外貨獲得に貢献し円高傾向となると考えられる。

それでは我々税理士業界はどうでしょうか。

(1)平成13年4月頃国会会期予定の税理士法の改正

(2)規制緩和に関する税理士制度の行方

(3)2003年頃から実施予定の電子申告

(4)地方公共団体外部監査委員に税理士を専任
以上4点を重要課題として今後日税連・近税会では積極的に推進していくようである。今後(2)の規制緩和に関する税理士制度の動向について

最も注意が必要であろう。諸外国からの規制緩和という「ポケモンピカチュウ」が日本に上陸し専門士業の職域を食い荒している。一日も早く諸外国からの「ポケモンピカチュウ」に打ち勝つ手だてを考えなければならない。その方法として我々税理士が反対に諸外国へ進出すればどうでしょうか。そのためには①諸外国語(日本語以外に2ヶ国語)のマスター②諸外国の税務行政のマスター③通信情報サービス事業の(インターネットホームページ等)のマスター等、物事を地球規模で考え行動するのが21世紀に生き残れる税理士という初夢ではいかがですか。

間もなく税理士事務所にとっては、超繁忙期を迎えます。本年も例年通り地区納税相談を実施いたします。会員先生方には税務援助の主旨をよくご理解のうえご協力の程よろしくお願いいたします。

この新しい年が会員先生方にとりまして、ますますのご健勝とご事業の発展の年でありますと共に飛躍の21世紀にされますよう心からお祈り申し上げます。

新年のごあいさつ

和歌山税務署長

山 本 富 一



新年あけましておめでとうございます。

近畿税理士会和歌山支部の先生方におかれましては、希望に溢れる新年をお健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

平素は税務行政の円滑な執行に対しまして、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

お蔭様で、昨年十一月のKSKシステム導入に際しましては、大きなトラブル等もなくまた、署務運営も順調に推移しており、ここに厚く感謝申し上げます。

新しい年を迎え、私どもといたしましては国民から信頼される税務行政の推進に向け、より一層の精進を心掛けたいと存じておりますので、

本年も、なお一層のご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

さて、二十一世紀をまじかに控え、我が国は、世界に例をみないスピードで少子・高齢化が進展してきております。

今後、高齢化の更なる親展による社会保障費の増大などにより、租税と社会保険料負担の国民所得に占める割合が上昇していくこととなります。

それに比して、一般会計税収は、平成二年度に六十兆円を越えるピークとなった後、バブル崩壊による景気の低迷や景気対策のための減税により減少し、平成十一年度の税収は恒久的な減税の影響もあって、十三年前の昭和六十二年度の水準となりました。

こうした非常に大きな時代の変化の中において、行政が的確に対応することが、今まで以上に求められており、現在我が国は財政構造改革や金融システム改革あるいは経済構造改革といった諸問題に取り組んでいるところであります。

税制面におきましても直面する経済社会の構

造変化や諸改革に対応すべく変革していくことが求められていることから、今後、情報化、電子化の進展やこれに伴うボーダーレス化に対して、税の制度・執行両面においても対応していく必要があります。

このような状況化の下、税務に携わる第一線の者としましては「適正・公平な課税の実現」と「期限内収納の確保」という私どもに課せられた使命の達成を図るため、経済情勢等の変化を十分見据え、納税者に信頼される税務行政の確立に努めなければならないと考えております。

更に、月が変わりますと確定申告期を迎えることとなります。

税の専門家として豊富な経験と高い見識をお持ちの先生方の、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに臨み、この新しいミレニアムであるこの年が近畿税理士会和歌山支部のますますのご発展と先生方のご繁栄の年であることを祈念いたしまして新年のごあいさつといたします。

年男・年女に当たる会員

昭和3年

青木典敏
熊城和雄
小林三郎
杉若哲弘
辻康男
森川静雄
森下旺胤

昭和15年

石井健二
井上嘉久
岡八重子
金岡憲治
木下治
宮田紀雄

昭和27年

池田保孝
鈴木和男
竹田千穂子
茶谷芳行
速水慎一郎
森脇敏夫

昭和39年

西山正記



以上20名 おめでとうございます

平成12年1月1日 現在 会員数 232人 (平均年齢59歳)

「マラソン」

木下 治

年男（昭和15年生まれ）



日頃「年令」を極力考えない様にしていたのに、年男に選ばれて、何すんねん！と叫びたかったが、今年（平成12年）から他人事と思っていた年金を貰えるらしいし、大過なく60才を迎えられるのだから、まあいいっか！

若い頃から酒飲みで随分と身体を痛めつけて来たが、今、健康でいられるのは35才から始めたマラソンのおかげと考えている。子供が通っている幼稚園の運動会のリレーに駆り出され第4コーナーで足がもつれて転倒、こんな筈では無かった、ここまで足が老化していたのかとがく然としたのが動機でランニングを始めた。1週間に500mずつ距離を伸ばし、3ヶ月位で5～10Kmをこなせる様になった所で、実業団のロードレース10Kmに出たところ、30オクラスの2位に入賞、これがキッカケでマラソンにのめ

り込んでしまった。他に誇れるものは何も無いが25年間走り続けた心肺機能と脚力には自信があり今も充分健康を維持できている。40才前半のピーク時には月間350Kmを走行、フルマラソン公式タイム2時間44分を記録した。最近では月間100Kも走れなくなったが35才の息子と28才の娘にはまだ負けたくない、負けたくないと思っている。1昨年3月、息子から桃山町マラソン10Kmの挑戦を受け、確申直後の為、練習不足のまま走ったが3位に入賞、息子にもブッチ切りで勝って親父の対面を保つことが出来た。只、練習期間が少く無理がたたったか、膝の靭帯を痛めまったく走ることが出来ず辛い期間もあった。そろそろ年令を考えた走りをする時期かなと思いつつも走り出すと前を行くランナーを抜きたくなる。

日本全国で年間10万人を超える市民ランナーが42.195Kに挑むと言われている。又60才を超えてからマラソンを始め何度も完走した人を何人も知っている。一生青春、もう一度チャレンジ！

「ミレニアム

・還暦・業務対策」

金岡 憲治

年男（昭和15年生まれ）



本年は干支でいえば辰（龍・竜）年にあたる。それで昭和15年（1940年）生まれの私は年男ということになり、支部の広報担当から原稿依頼がきたという次第である。元来、文章を書くのは大の苦手である私に、選りによってとは思いつつながら、現在、近税会和歌山支部の幹事（業務対策担当）に任ぜられている立場からして、協力しない訳にもいかず、やむなくキーボードを叩き出した次第である。

広報担当の資料によれば、当支部の会員で私と同年生まれ、つまり記念すべき2000年に還暦を迎える者は6名とのこと。

この仕事を始めた頃は、還暦を迎えるような先輩達は超ベテランの専門家ばかりだなあとはいちでいたものですから、今年自分がその年になるのだと思うと、その落差の大きさにぞっとしています。

ところで、私は昭和48年1月に税理士の登録をいたしましたので、今年で27年が経過したのですが、今まで税理士会や協同組合の行事に積極的に参加するわけでもなく、強いていえば研修会へ出席させて頂いていくらいのものでした。

ところが、3年前に初めて支部の幹事を命ぜられて、月1回の役員会や部の打合せ等を通じて、役員皆さんの熱心さや努力に深い感銘を受けました。そして、皆さんと一緒に行事に参加出来る喜びも知りました。また、役員以上に熱心に会務にご協力下さる会員の多いことにも驚

きました。これも先輩役員方が今までこのよき土壌を創ってくれたからだと思い、感謝いたします。

赤い「ちゃんちゃんこ」を着て還暦を祝って

もらう年になりましたがまだまだ気は若いつもりです。あと1年業務対策の担当幹事として頑張ります。ご指導・ご協力の程、よろしく願いいたします。

「初詣」

竹田千穂子

年女（昭和27年生まれ）



初詣は家内安全で、皆が健康でありますように、と毎年この時ばかり神様にお願いして参拝しているのですが、今年は辰年にちなんで別のことをお願いしてみようかな。

我が娘は美大をめざす受験生で、イメージトレーニング創造力を養うのだとか、いろいろな発想と想像で可能性をのばすのだと、私を想像力にまるで欠けると批判しつつ楽しい想像の世界に自分をおいてみれば、人生を豊かにできるのだと講義してくれる。「でも、夢で描いたことが実現したことなんてあったかしら、現実は甘くないわよ」と思いつつ、聞いている。

前回の辰年の頃は、子育て、家事、仕事と暇などなかったような気がするし、今は、子育て

は一段落したものの（彼女たちは自分で一人前になったと思っている）姑、舅が高齢になり、姑の骨そしょう症よりの入院、歩行困難、その他病気等々子供たちと違って神経を使う。子供たちが大きくなったからといって家事を分担してくれるわけなし。

ぐちはさておき、今、してみたいと思っている事、一週間程度、夫とトワイライトエクスプレスに乗って北海道まで周遊の旅に、優雅にのんびりと、ごちそうを食べ、すてきな景色をながめながらロマンチックな気分ひたって、一週間、何の話しをしようかしら、趣味も違うし、共通の話題って、子供の事、姑たちの事、家の事（農業の継承）、あーそうだ、子供たちの教育費にはこれからかなりかかるんだ。姑たちも高齢になる一方で、これから何かあるかわからない。私には、自由になるお金も暇もないのだった。

神様、今年も、健康で家内安全、一年が無事に過せますよう、よろしく願いいたします。

「6度目の

辰年のために」

速水慎一郎

年男（昭和27年生まれ）



「今年やっと36歳になります」と言う前から12年、この世に生を受けてから5度目の辰年を迎えました。1度目の辰年のときに、自分がどうな風だったのかは当然何も覚えていません。2度目は昭和39年、東京オリンピックの年でした。小学校の6年生だったなあと振り返してみると、結構たくさんの映像が季節を通じて頭に浮かぶのに驚きます。3度目は昭和51年。大学を卒業

した年でした。オイルショックのあとで、なかなか大変な時代でした。会計の道に進もうと、遅れ馳せながら決意をしたのもこの年でした。そんなこんなで、この年の映像も盛り沢山です。さて、4度目、前回の辰年です。困ったことに、昭和63年の自分の映像が殆ど出てこないのです。税理士を登録をして4年、長女が3歳・・・と思い巡らせてみても、本当に腹立たしいほど何も思い出せないのには、正直驚愕としました。

なんとも目覚めが悪いので、何か手がかりをと、昭和63年が一体どんな年だったのかを調べてみました。

「ドラクエⅢ」が異常人気、中国・上海で修

学旅行列車事故、青函トンネル開通、東京ドーム落成、五木ひろしと和由布子が婚約、瀬戸大橋開通、ニュースセンター9時のキャスターが木村太郎から平野次郎に交代、マル優制度廃止、ソ連がアフガニスタン撤退、国債ネズミ講「国利民福の会」強制捜査、リクルート疑惑発覚、自衛隊潜水艦なだしおが釣船と衝突、中学2年の少年が両親と祖母を刺殺、イラン・イラク停戦、シブがき隊解散、ソウル五輪、鈴木大地が金メダル、読売ジャイアンツの王監督が辞任、天皇陛下重体、明石家さんま・大竹しのぶ結婚、ベトちゃん・ドクちゃんの分離手術成功、福岡ダイエーホースク誕生、北海道「食の祭典」が大赤字閉幕、ブッシュ米国大統領誕生、千代の富士53連勝、ゴルビー旋風、マラソンの瀬古引退、オバタリアンの流行……。だめだ！出来事は思い出せても、せいぜいそのニュースを新

聞で眺めている自分しか思い出せない。何なんだこれは！

もしかしたら自分は、このころ、感動するということをつっかり忘れて、そんなにも毎日の生活に追いかけていたのでしょうか。大反省……。しかし一方で、出来事の羅列を眺めてみて驚くのは、最近も12年前と同じような出来事が相変わらずしかも頻繁に起こっていることです。つまりは、自分の生活にも追われていたけれど、世間の動きにも十分に弄ばれていたのだと再反省。

今日からは目先のことや安逸な情報にとらわれず、自分の存在をもっと確かに、しかも堂々と過ごしたい、毎日毎日感動のシャワーを浴び続けたい、そして、次の辰年の節目には12年間の映像をたっぷりと描けるようでありたいと心から念じるのであります。合掌。

「辰巳天井申すべり」

西山正記

年男（昭和39年生まれ）



景気についてはその昔（江戸時代頃）から「辰巳天井申すべり」というそうです。

どういう意味かといいますと、卯年・辰年・巳年にかけて景気が良くなり、申年にかけて一気に悪くなるということです。「うだつが上がる」という言葉もこんなところからきているといわれています。

一例をあげますと、日経平均株価が過去最高の38,915円を記録したのは、1989年（平成元年）の年末、巳年の大納会でのことでした。それから大暴落し、申年である1992年（平成4年）の8月には14,194円の安値まで売り叩かれました。

さて、2000年（平成12年）は巡り巡って再び辰年。卯年の昨年はやはり実感はないものの、何やら景気回復がささやかれ始めていました。日経平均株価が年末にかけて20,000円台を、為

替も1ドル＝100円をうかがう展開になってきていて、かなりの景気回復期待感が織り込まれています。

辰年である来年もGDPのプラス成長が見込まれています。景気回復まで不動産は7年、銀行は5年、証券は3年かかる（1992年頃、これらは「7・5・3」と呼ばれていました）といわれていましたが、遅まきながら株価は上昇トレンドに乗り、銀行等の金融再編も進み出し、また不動産についても物件によっては投資収益力のあるものが出てきて、全体的な景気の底打ち感が出てきているように思えます。

逆にその一方では、産業の構造改革の遅れが指摘されています。株価上昇の中心は、ハイテク、情報通信関連や金融機関の再編やリストラに伴う業績回復期待に基づくものとなっているからです。

米ナスダックに上場しているアマゾン社など毎期欠損を出している会社の株価が上がり続けるなど、インターネット・バブルとまでいわれていますが、すでに日本国内にもとんでもない

企業がありました。それは「ヤフー・ジャパン」です。この会社は、インターネットの検索システムを提供する傍ら、企業から広告収入などを得て運営している会社ですが、この会社の株価(店頭登録銘柄)は、なんと取引単位の価格が約7千万円。市場に流通している株式数があまりにも少なく、取引価格が高騰してきたため、現在では1株を4分割して取引がなされています。したがって、さらになんとこの会社の株価

は1株当たりでは約2億8千万円の価格になるということになります。

今後これらベンチャー企業がインターネットを利用したサービスや販路を普及させてくると、既存のシステムによるマーケットは縮小に向かい、既存の企業の相当部分はベンチャー企業に取って代わり、真に消費者主権の時代がやってくる、本年のこの辰年が戻り天井にはならない、そんな予感がしています。

優良事業所見学、京都親睦旅行感想記

厚生部 額田幸至

業務対策部主催の優良事業所の見学として「アサヒビール吹田工場」、厚生部主催の「京都南禅寺親睦旅行」とセットで平成11年10月5日(火)午前8時に会員35名で税理士会館前をバスで出発し、厚生部の森脇会員の司会で今日一日の行動予定の説明がありました。バスの中はアサヒビール見学・南禅寺・湯どうふの話題で盛り上がり、楽しい雰囲気だったので、アサ



ヒビールに到着したのが本当に早く感じた。岡田業務対策担当副支部長のあいさつの後、早速、説明会場でビデオ上映があり、その後工場内で「スーパードライ」の実際のビールづくりの工程を分かりやすく、ていねい、親切に説明してくれました。やはり超一流企業のすばらしさに感心しました。見学後は楽しみにしていたスーパードライの試飲・試食となり、制限時間内に飲むのは自由だったので、たっぷり堪能されたようでした。手みやげを買い、記念写真を撮り、アサヒビールを後にして一行京都に向いました。業務対策部の皆さん、このすばらしい企画をしていただき、ありがとうございました。又次回もすばらしい企画を期待しています。京都には午後1時過ぎに着き試飲のビールも少し抜け又お昼には少し遅かったので、早速湯どうふ・湯葉などに舌つづみをされ日頃の仕事を忘れ京の味に酔いしれていました。静かな京都とこの賑やかさのアンバランスの不思議さが時間の経つのを忘れさせてくれました。湯どうふの後、大仙院に行き境内の散歩又は院内の模様、庭園を拝観し、名物和尚(TVによく出ているらしい)の話が聞けず(留守だった)残念。しかし、おいしいお茶と茶菓子をいただき京都の雰囲気味わった。帰りには、皆さんの要望でみやげ店に寄り、京名物の漬物などをたくさん買って帰路につき途中、道路の混雑もなく順調に和歌山へ着きました。先生方本日1日本当にご苦勞様でした。この旅行に参加して、アサヒビール、京都方面への道中で先生方と和気あいあいで気さくに交流できたことをうれしく思います。本当にありがとうございました。今回参加されなかった先生方も次回(一泊旅行の予定)にはぜひぜひ参加していただくようお願いして、私の感想記を終ります。最後に森脇先生には、総司会で今日一日を盛り上げていただき本当にご苦勞様でした。

新入会員等ご紹介 (敬称略)

入 会



小林 正典
平成 11 年 9 月 20 日
(事務所)
和歌山市田中町 4-104
木下悦匡事務所内



小仲 功
平成 11 年 11 月 17 日
(事務所)
和歌山市新通 7-35



南方 麻友子
平成 11 年 11 月 17 日
(事務所)
和歌山市納定 15-17
北川慎次郎事務所内



前田 起彦
平成 11 年 10 月 20 日
(事務所)
和歌山市田中町 5-2-4
オガタビル 3F

退 会

竹内 壽 (廃業)
服部 榮子 (廃業)

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

新年あけましておめでとうございます。
Y2K 問題による大きな混乱もなく、無事に 2000 年を迎えることができました。備蓄によるカップラーメンを消化することに専念している今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。
さて、今回は「年男・年女に当たる会員ご紹介」を中心に掲載させていただきました。この企画に協力していただいた会員先生方には、暮れのお忙しい時期にもかかわらず原稿依頼をお引き受けいただき、ありがとうございました。
これからも、より多くの会員先生方の論稿を紹介していきたいと考えておりますので、内容・ボリュームにかかわらず積極的なご参加をお願いします。
本年も至らぬ点が多数あるかと思いますが、よろしくお願い申し上げます。

広報委員 崎山 石倉 木村